



データ活用力×常識に捉われない発想力で経営課題に挑む、DX 変革推進人財育成プログラムを開始

DX・IT 基幹人財 13 名を選抜し、ビジネスプロセス変革・新たな顧客価値創出につながる経営課題の解決を目指す

サッポロホールディングス(株)は、サッポログループのDX方針(注1)のもと、データ活用によるビジネスプロセス変革・新たな顧客価値創出につながる経営課題の解決を目指し、4月から約5カ月間のDX変革推進人財育成プログラムを開始します。

2022年からDX・IT人財育成プログラムを始動し、2023年までにDX・IT基幹人財900名(DX・IT推進サポーター含む)を育成しました。本年は、さらに質の高い成果創出を目指すため、DX・IT基幹人財のうちアセスメントスコア等により選抜されたグループ会社社員13名に対して「既存の常識にとらわれない発想」および「データ活用・セキュリティ」に関するスキルの強化を図ります。本プログラムは日本アイ・ビー・エム(株)(注2)の協力を得て実施します。事業課題と紐付けたDX取組課題の設定、課題解決策の策定とデータ活用による検証を行うワークを通して、全体最適の観点から企業・事業の構造や戦略を見直し、長期的な競争力強化や市場でのリーダーシップ確立に向けた革新的な取組を推進できる人財を育成します。

サッポログループでは「中期経営計画(2023~26)」(注3)の中で、事業戦略・財務戦略・サステナビリティを支える経営基盤として「DX」を重点活動の1つに位置付けています。DX成果創出への取り組みを引き続き推進し、企業価値の最大化と中期経営計画の達成を目指します。

(注1) <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8912>

(注2) <https://www.ibm.com/jp-ja/about>

(注3) https://www.sapporoholdings.jp/ir/library/description/items/management_plan_2023_26.pdf

■プログラム概要

実施期間：4月~8月

対象者：グループ会社社員13名

形式：オンライン/オフラインのハイブリッド形式

内容：

フェーズ① 課題設定フェーズ

ビジネスプロセス変革・新たな顧客価値創出を実現する、事業課題と紐付けたDX取組課題を設定する。

- ・既存の発想に捉われないアイデア創出思考法インプット
- ・ビジネスプロセス変革・新たな顧客価値創出につながる経営課題の探索
- ・取組アイデア創出
- ・実現性や効果等を考慮したスクリーニングにより1テーマ/チーム設定

フェーズ② 解決策策定フェーズ

課題解決に向けた解決策の検討・検証を行い、実際の推進計画書を作成する。

- ・DX で活用されるデータ・技術の情報インプット
- ・設定課題に対するデータ活用スキル（各種分析手法・統計知識／生成 AI）のインプット
- ・大規模な開発や投資を伴わないスモール PoC による効果検証
- ・検証結果を踏まえた推進計画書の作成

■DX・IT 人材育成全体像

